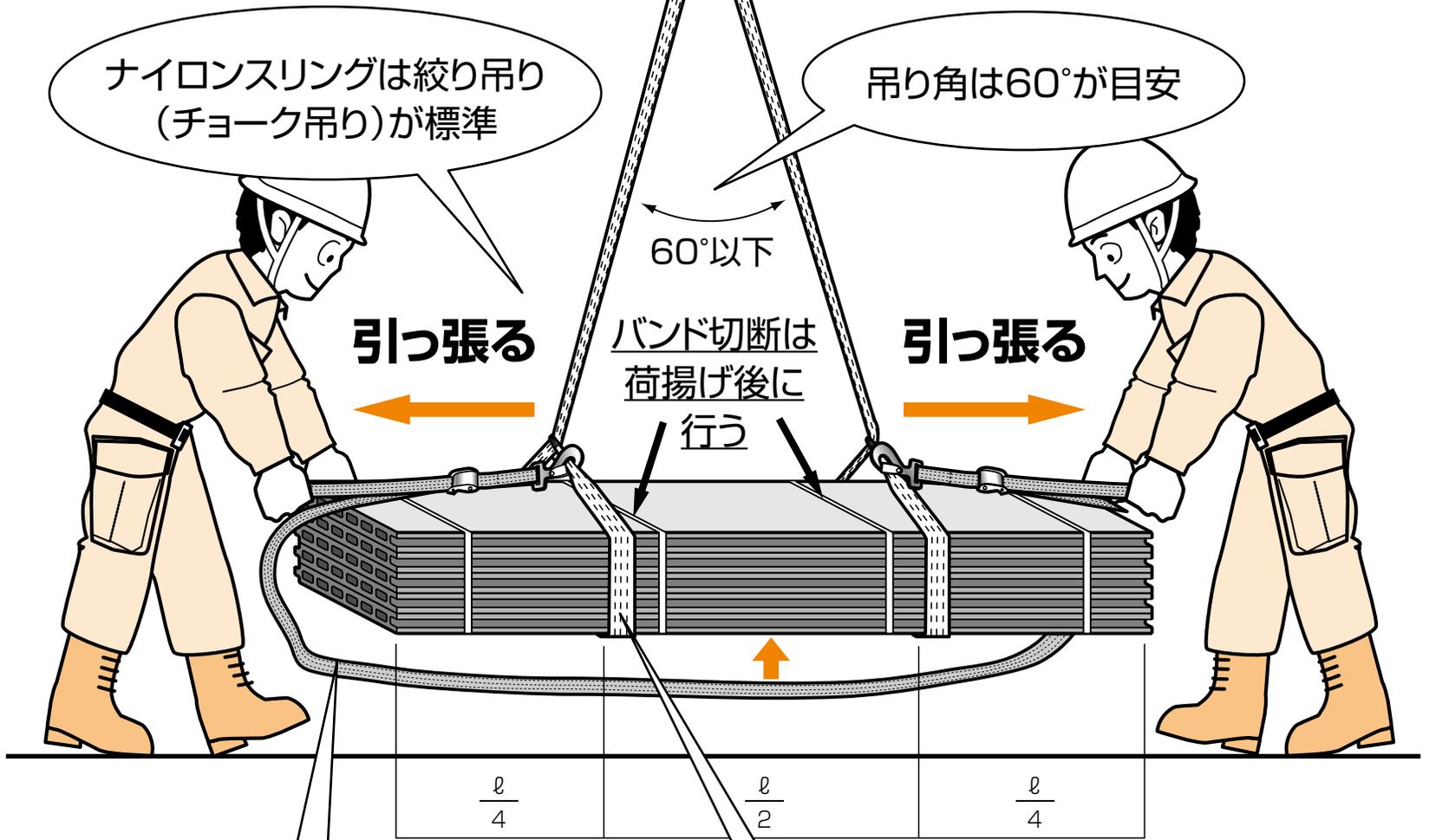
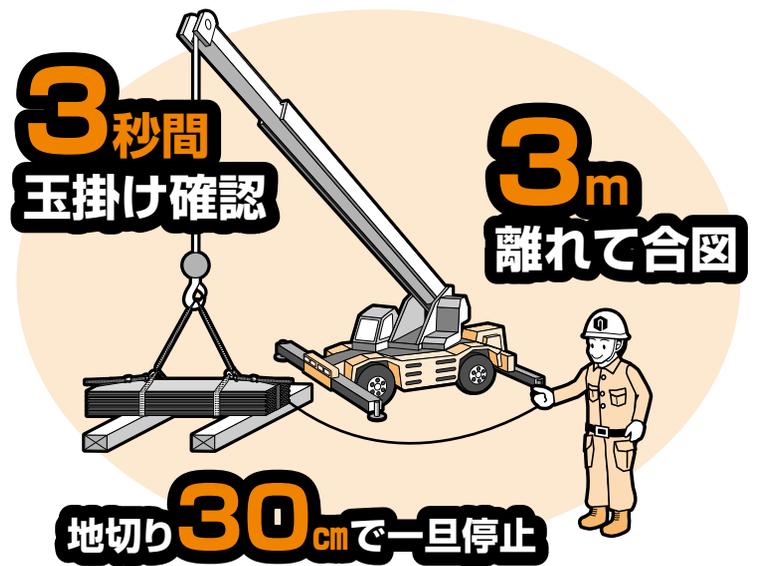


アスロック荷揚げ 荷卸時の注意事項の基本

- 荷揚げ・荷卸は梱包単位で行うこと。
- リン木を挟んだ状態で「荷揚げ」「荷卸は禁止」
- 吊り荷の下には、絶対入らない。
- 合図者は吊り荷から目を離さない。
- 作業前に吊り上げ治具の点検を行う。
- バンド切断は、荷揚げ後に行う。
- バンド切断時にガasketを切断しない。
- 切断時、バンドの跳ね返りがあるため保護メガネを着用。

玉掛け作業の3・3・3運動



補助ベルト(ラッシングベルト)はナイロンスリングのアイ部に掛け、たわまないように引っ張る

ナイロンスリングの掛け位置はパネル端から1/4が目安

詳しい注意事項は、動画をご覧ください。

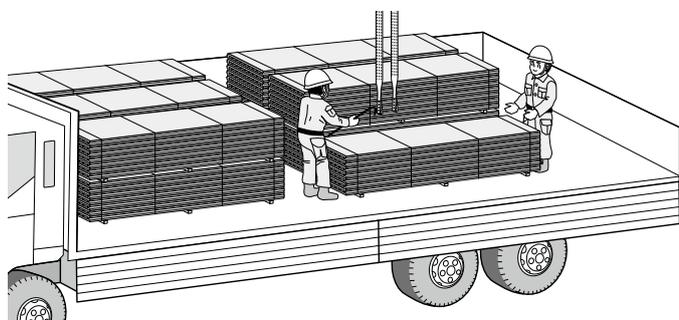
<https://youtu.be/JbQQC9PjTf8>



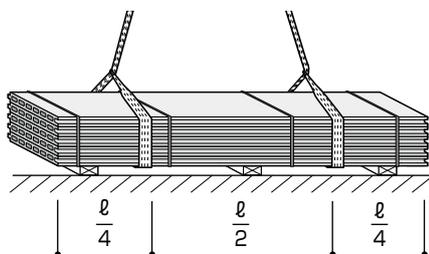
アスロックの荷揚げ手順の標準

① ナイロンスリングを掛ける

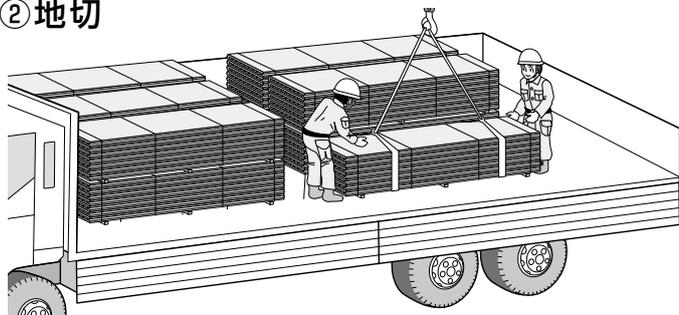
・ナイロンスリングはアイ部を通すチョーク掛けとする



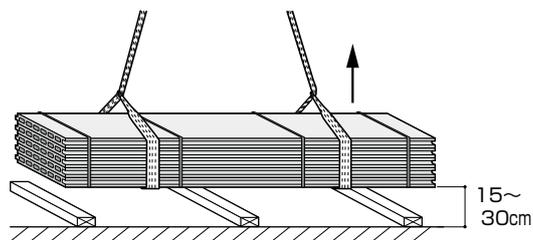
・ナイロンスリングの掛け位置はパネル端から長さに1/4程度とする
・輪木が邪魔になる場合は、一度吊り上げ、輪木をずらし、ナイロンスリングを所定の位置に掛ける
・バンドは荷揚げ後切断する



② 地切

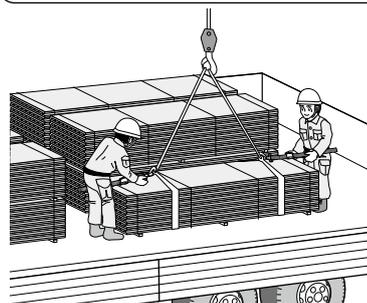


・地切高さは約30cmとする



③ 補助ベルトを掛ける

・補助ベルトを使用することで、ナイロンスリングの滑りとアスロックが長手方向に荷崩れることを防止

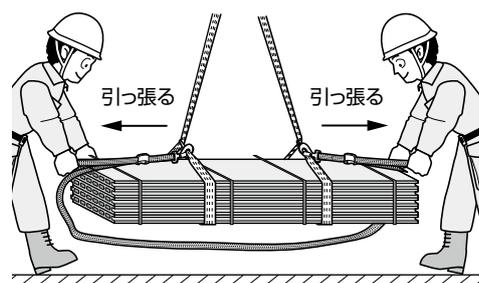


・地切した状態でナイロンスリングのアイ部に補助ベルトを掛ける。又はシャックルを用いる



④ 補助ベルトを締める

・補助ベルトを緩みがないように引っ張る



⑤ 巻き上げ開始

詳しくは、動画をご覧ください。

<https://youtu.be/JbQQC9PjTf8>

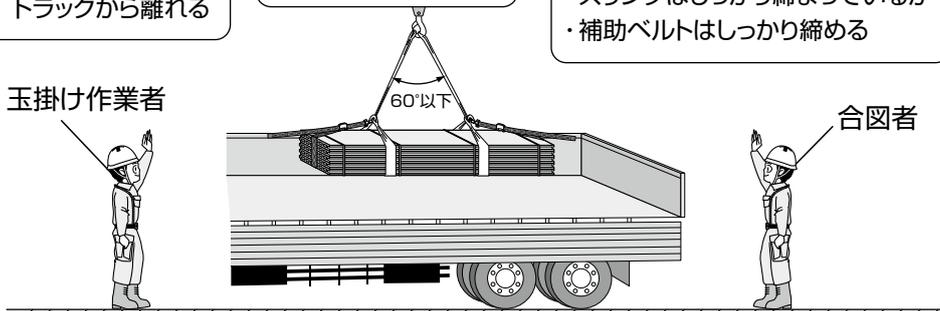


・合図者、作業者はトラックから離れる

・ナイロンスリングの吊り角は60°以下

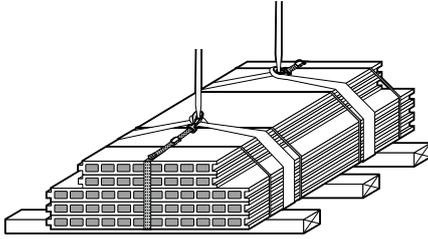
・左右のバランスはよいか
・スリングはしっかり締まっているか
・補助ベルトはしっかり締める

玉掛け作業者

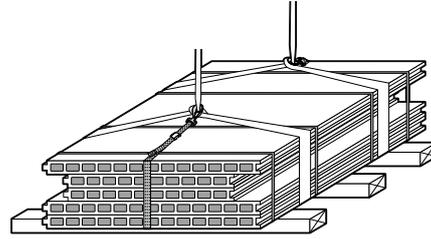


●吊り荷姿について

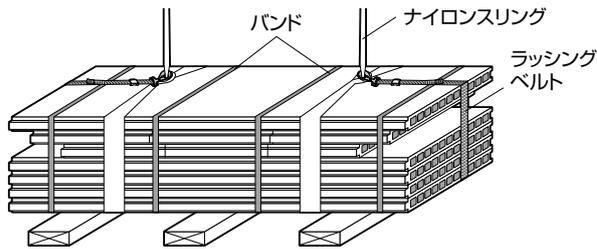
・1ユニットに長さ・幅の違うものがある場合は、荷崩れ・落下防止のためにベルト等で縛る



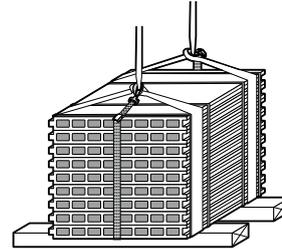
・幅カット品を上部に積んだ荷姿の場合



・幅カット品を挟み込んだ荷姿の場合

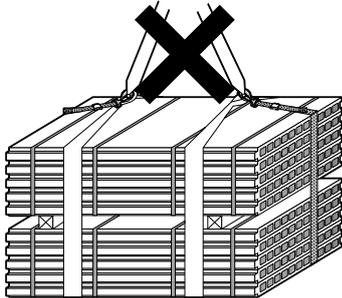


・短尺品を挟み込んだ荷姿の場合

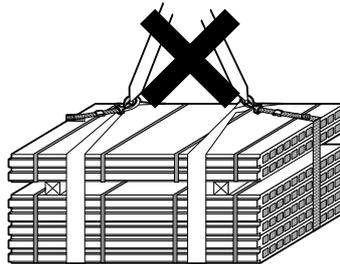


・短尺品を幅・長さ以上の高さに積んだ荷姿の場合

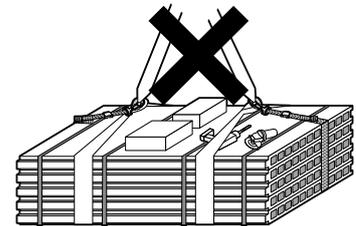
●行ってはいけない吊り荷姿



・2ユニット以上の荷姿



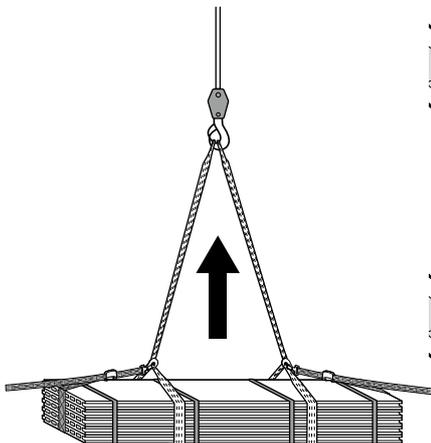
・輪木を挟んだ荷姿



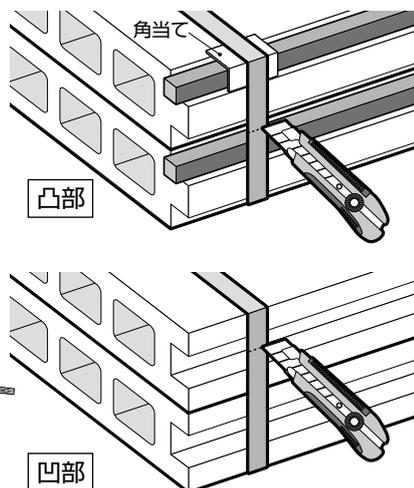
・ユニットの上に副資材・施工機械を乗せる

●バンドの注意事項

・バンドを巻いたまま荷揚げ
荷揚げ後にバンドを切断する



・バンド切断時は、凹部又は凸部の
ガスケットのない部分を切断する



・バンド切断時、バンドの跳ね返りがあるため、
保護メガネを着用する。角当て回収時、手を
切る恐れがあるため保護手袋を着用する

